

コロナ禍における生協労働者の実態

生協労連九州地連

書記長 長田洋一

1

エフコープ生協の概要

- **設立** 1983年4月 福岡県内5つの地域生協が合併
- **組合員数** 約52万人、うち宅共同購入利用者 約24万人
- **職員数** 約3,000人
正規職員 約1,200人 パートタイマー 約1000人
- **2019年度供給高** 557億円 うち共同購入事業の供給高は462億円
供給高の8割以上が共同購入事業
- **事業エリア** 福岡県全域 県内に宅配支所は16支所
福岡県内でおおよそ500台の配送トラックが稼働

2

コロナ禍の前と現在

企画週	供給高		利用者			一人当
	予算比	前年比	利用者数	予算比	前年比	予算比
4月③週	126.29%	127.05%	208,283	109.01%	110.96%	115.86%
4月⑤週	138.68%	141.47%	211,128	122.36%	126.43%	113.32%
5月①週	132.24%	132.88%	209,572	116.92%	119.11%	113.11%
5月③週	110.17%	109.47%	210,904	109.17%	110.52%	100.92%
6月①週	118.49%	119.23%	206,629	106.43%	108.68%	111.34%
6月③週	114.68%	116.04%	203,947	104.95%	107.15%	109.26%
7月①週	113.42%	114.61%	203,219	104.28%	106.57%	108.74%
7月③週	117.07%	120.18%	202,711	105.21%	107.20%	111.28%
7月⑤週	109.88%	111.69%	199,874	104.85%	107.34%	104.78%
8月①週	118.09%	118.70%	206,074	108.85%	110.49%	108.48%
8月③週	133.38%	134.77%	199,619	111.28%	113.51%	119.85%

3

物流機能の混乱

- 4月5週の利用者数は前年の126%、供給高は前年の141%に
- 商品であふれかえるトラックの庫内
- 物流がキャパオーバー → 商品はあるのに欠品
- 加入希望者の増加



4

労働者の実態

- 55.3%が「かなりきつくなった」、
29.7%が「ややきつくなった」と回答
- 労働負荷の増加
 - 身体的負荷
 - 物量の急激な増加
 - 重量物が増加
 - 配達時間が延びる・・・休憩時間が取れない
 - 積み込み・片付け



5

労働者の実態

- 精神的負荷
 - 商品の欠品に対してのクレーム
 - 配達時間の遅れ
 - 悪天候による商品の不良(主に農産品)
 - 自らの感染リスク
 - 残業時間の減少

6

労働者の実態

- 暑さとの闘い

- 夏場のマスク着用

- 熱中症対策



7

今後の対策について

- これまで通りの取り組み(密を避ける・不要不急の移動の自粛など)
- 勤務間インターバル制度運用の徹底
- インフルエンザ予防接種の全額負担
- 課題の整理

8